

株式会社フジタ

製造業(金型設計・製作、アルミ削出加工)

平成24年度 ものづくり技術 設備投資
H24

測定機導入で新たな可能性広がる 常識にとらわれない創造企業を目指す



欄間をスキャンするCNC三次元測定機（平成24年度補助金で導入）

会社の概要

総合金型メーカーとして、アルミ鋳造金型の設計・製作、アルミ削り出し加工、プレス金型の設計・製作、ブロー成型金型の試作・製作などを行う。アルミホイールや自動車部品向けなどのアルミ鋳造金型が主力製品で、金型製作で培った複雑形状の切削加工技術を得意とし、顧客の多様なニーズに応える。一括受注・一括生産体制を整え、多能工化に向けた人材育成、技術向上・能力アップのためのカイゼン活動などに力を入れる。工場見学やSNSによる発信も

積極的に行っている。

平成29年4月、第二工場の一角に、町工場の技術力とものづくりの魅力を発信する「Factory Art Museum Toyama」を開設。「世界でひとつの町工場にメタルアート美術館を」という思いに、クラウドファンディングなどで多くの力が結集し実現させた。ものづくり現場で働く技術者(クリエイター)の作品が並ぶほか、ワークショップ、研修セミナー、イベント、異業種交流などに利用されている。

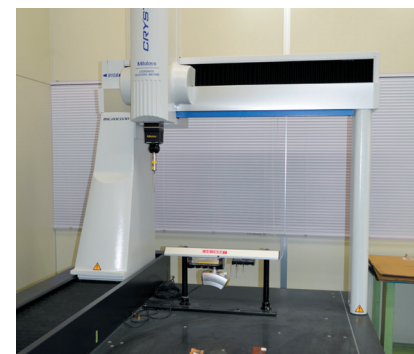
補助金事業の内容

代表が就任した平成22年頃、製

造業界はリーマンショックの大打撃のあと生産拠点の海外シフトに拍車がかかった。海外企業と差別化を図り生き残るために、ものづくりを根底としつつも常識にとらわれない発想で挑戦する「創造企業」を目指した。「うちにしかできないこと」を模索する中で目につけたのが、金型製品の出荷後に残る図面とモデルデータ。これらを資産として活かし、蓄積された金型のデータベース化、製品の寸法精度の保証、データを利用した新規事業など様々な分野に応用させるため、24年度の補助金でCNC三次元測定機を導入した。さらに25年度の補助金では、金型製作の精密加工技術向上とボトルネック解消のため、ワイヤーカット放電加工機を1台増設した。

補助金事業の成果

平成24年3月に導入したCNC三次元測定機は、点で測定するタッチプローブによる接触測定と、レーザープローブによる非接触測定の両方が可能。スキャニングによる複雑形状の測定とデジタル保存が可能になり、図面が無い金型や、修理・改良依頼された金型を測定し、蓄積されたデータと照合・比較することで、要望に迅速対応できるようになった。また、寸法精度の高精度化で顧客の信用度も上がり、さらに、測定



平成24年度補助金で導入したCNC三次元測定機

会社データ

創業 昭和38年
設立 昭和50年3月18日
代表 梶川 貴子
所在地 高岡市福岡町荒屋敷522
TEL/FAX TEL:0766-64-3710 FAX:0766-64-5220
E-mail fujita@fujita-k.co.jp
U R L www.fujita-k.co.jp
資本金 1,500万円
従業員数 13人
取扱製品 アルミ鋳造金型設計・製作、鍛造金型製作、プレス金型設計・製作、ブロー成型金型製作、アルミ製品削り出し加工、試作型及び各種治具製作、金属アート品製作

設備を持たない企業や個人のスキャニング依頼にも対応できるようになった。このほかアナログモデルのデジタル化、レプリカ製品化、試作品加工など、多方面で「可能性と創造力」の幅を広げた。

また、導入と同時期に構想されていたミュージアムの展示作品に、この測定機で井波彫刻の欄間をスキャンし、切削技術を生かして作った「アルミの欄間」が社員のアイデアで誕生した。メディアにも多く取り上げられ、発想の逆転や意外性は企業評価にもつながり、社員の創造力、意欲向上にも大きく寄与した。

ワイヤーカット放電加工機の増設では、加工時間の短縮が図れた。さらに48時間の自動運転が可能になったため、省人化、多能工化による新たな生産プロセスを構築した。

今後の展望

「モノづくりはヒトづくり」を念

頭にさらに人材育成を進めるため、平成30年9月からチャレンジ型のインターンシップを始めた。学生とプロジェクトを立ち上げ、イベントを通してプロセスを学び、半年間で達成させる。社員のスキルアップも図り、そこで得られたノウハウを次の事業につなげたい。

ものづくりだけでなく、製造業もサービス業や小売業、産業観光などに取組めば、小さな町工場でも可能性はまだまだいくらでもある。単なる製造業に留まらず、「発想力・判断力・想像力豊かなエンジニア集団」として、五感を使って新たなアイデアで創造することを目指す。また、ミュージアムでの実験的な取り組みやノウハウ、ネットワーク、マーケティングなどを既存事業の売上拡大にも生かしたい。「人のやらないこと」にいち早く着手し、「多脳工」（当社オリジナルの多能工の造語）で知恵を絞り工夫する挑戦企業でありたい。



平成25年度補助金で導入したワイヤーカット放電加工機



Factory Art Museum Toyamaの展示の一部



測定データをもとに作り上げたアルミの欄間